

## 1. 略歴

- 1995年3月 日本女子大学文学部史学科卒業
- 1995年4月 東京大学文学部歴史文化学科研究生入学
- 1996年3月 東京大学文学部歴史文化学科研究生修了
- 1996年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程入学
- 1999年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）修士課程修了
- 1999年4月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程進学
- 2003年3月 東京大学大学院人文社会系研究科日本文化研究専攻（日本史学）博士課程単位取得退学
- 2003年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）～2005年3月
- 2005年4月 立命館大学文学部任期制講師～2008年3月
- 2006年6月 博士（文学）学位取得
- 2008年4月 立命館大学文学部准教授
- 2016年4月 東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

日本中世史

### b 研究課題

13～16世紀における日本中世の都市社会構造、中世身分制

### c 概要と自己評価

中世都市京都の社会構造の分析を進めた。具体的には、「町」共同体の成立期とみなされている戦国期の社会構造の検討を進めるとともに、「西之京」地域の歴史について考察を深めた。特に「西之京」地域については、現在も中世に由来する神事が地域の人々の手で行われていることから、これまでとりくんできたフィールドワーク調査の成果と文献史料から読み取れる情報との接合を試み、近世・近現代の地域史をも視野に入れた検討を行うなど、研究手法の開拓を試みた。このほか、研究会および科学研究費による共同研究を通じ、10年ほどにわたって検討してきた、中世村落にかかわる研究の成果を論集としてまとめることができた。

### d 主要業績

#### (1) 著書

編著、大山喬平・三枝暁子『古代・中世の地域社会―「ムラの戸籍簿」の可能性』思文閣出版、2018.9  
共著、杉森哲也編『シリーズ三都 京都巻』1-23頁、東京大学出版会、2019.7

#### (2) 論文

三枝暁子、「脇田晴子の中世都市論をめぐって」、『歴史学研究』、969号、17-24頁、2018.4  
三枝暁子、「フィールドワークで探る中世―西京の歴史と現在―」、『日本史研究』、678号、4-22頁、2019.1  
三枝暁子、「16世紀戦乱下の北野社宮仕の生活と交流―能哲の「日記」から―」、『立命館大学人文科学研究所紀要』、122号、205-227頁、2020.2

#### (3) 学会発表

国内、三枝暁子、「フィールドワークで探る中世―西京の歴史と現在―」、日本史研究会大会全体会シンポジウム、2018.10

#### (4) 啓蒙

三枝暁子、「室町将軍と天皇・上皇」、高橋典幸・五味文彦編『中世史講義―院政期から戦国時代まで―』201-216頁、筑摩書房、2019.1  
三枝暁子、「西之京の前近代をさぐる」、上杉和央・加藤政洋編『地図で楽しむ京都の近代』56-61頁、風媒社、2019.2

#### (5) 共同研究（産学連携除く）

国内、参画、東京大学史料編纂所、共同利用・共同研究拠点一般共同研究「賀茂別雷神社文書の調査・研究」、2018.4～2019.3、2019.4～2020.3

### 3. 主な社会活動

#### (1) 他機関での講義等

非常勤講師、立命館大学（文学部）「京都学フィールドワーク」、2018.9（夏期集中授業）

非常勤講師、立命館大学（文学部）「京都学フィールドワーク」、2019.9（夏期集中授業）

非常勤講師、日本女子大学（文学部）「日本史講義」、2018.4～2019.3、2019.4～2020.3

非常勤講師、立教大学（文学部）「日本史演習」、2018.4～2018.9、「史学講義」、2018.10～2019.3

非常勤講師、明治大学（文学部）「日本史料学Ⅰ」、2019.4～2019.9

その他、諏訪市市民大学講座「京都西之京のずいきみこしー地域に息づく天神信仰ー」、2019.2

#### (2) 学会

国内、日本古文書学会、評議員、2018.9～

国内、都市史学会、企画委員、編集委員、2018.12～

国内、歴史学研究会、研究副部長、2018.6～2019.5、研究部長、2019.6～